

8月4日(木)発行

当日の感動をすぐお届け!!

特別協賛: TOSHIBA Leading Innovation >>>

ほぼ

日刊サマ-ミュージカ

Hobo Nikkan Summer Muza



ヤングパワー、魅せた!

8月2日(火)かわさきジュニアオーケストラ発表会 撮影：青柳聡

急な雷雨もなく晴れた天気となった、8月2日のかわさきジュニアオーケストラ発表会。小学2年生から大学1年生までの団員に、大人を加えて総勢約70名のオーケストラのメンバーがミュージカのステージで熱演を繰り広げました。

江上孝則先生のタクトのもと、まずは今年生誕230年のウェーバー作曲「舞踏への勧誘」(ペルリオズ編)と「魔弾の射手」序曲が披露されました。こどもたちの真摯に作品に取り組む姿勢とピュアな演奏が印象的でした。続いて演奏されたのは、オーディションで選ばれた石黒響平さん(中学3年生)による、ブルッフのヴァイオリン協奏曲から第1楽

章。「この曲が好き」という作品に対する熱い思いが伝わる快演でした。演奏後のインタビューにも堂々と応え、将来は「オーケストラで弾いたり、音楽療法を勉強したりして、人の役に立ちたい」と石黒さん。前半の最後は、サン＝サーンス作曲、歌劇「サムソンとデリラ」からバツカナルで締めくくり。外の暑さを忘れるほどの美しい調べにうっとりしました。プログラムのメインには、ドヴォルザークの交響曲第9番「新世界より」第4楽章と、「スターウォーズ」(ブルーベイカー編)の2曲が用意され、大人顔負けの迫力ある演奏を聴かせてくれました。「スターウォーズ」からオージーの

大楽隊では、こどもたちが演奏しながら大きな声で歌っている場面も見られましたよ!

今年で4回目の開催となった、かわさきジュニアオーケストラ発表会。こどもたちの本番の集中力とエネルギーには毎回目を見張るものがあります。オーケストラの活動を通してこどもたちの成長を見守ることができることは、かわさきジュニアオーケストラの醍醐味です。またこどもたちを応援しに、発表会を聴きに來てくださるお客様にいつも感謝しています。

かわさきジュニアオケ担当 事業課 ぷ



終演後、みんなで記念撮影!

8/2 かわさきジュニアオーケストラ

お客様の声から♪

すごい音でいもきにして、音の強弱、みんなのしんけんさが音で伝わっちゃうほど、心がこもっており、すごくいい子どもオーケストラだと思いました♪(10歳・学生・小田桐陽音) / 部活が忙しく、音楽(特にクラシック)への興味や関心がうすくなり、楽器=大変というイメージに変わっていましたが、またホルンに惚れ直しました!笑笑(13歳・学生・Horn 木藤良♪) / 私は部活でトランペットをやっているのですが、トランペット奏者の方が上手で、たくさん練習しようと思いました。(14歳・中学生・Kanamin☆) / 江上孝則先生の踊るような指揮を受けて、若い人たちが見事に躍動していましたね。プラボー!!(56歳・会社員・中野雅之) / 若さいっぱい力あふれる演奏がとても良かった。未来の音楽家をたくさん育てていることがわかった。(匿名) / 川崎市にジュニアオケあり。大変誇らしいことです。ますます拡がりを見せてほしいと思います。(川崎区に住む音楽家)

NEXT!!

フェスタサマ-ミュージカ

明日はどう聴く?

20代応援団がナビゲート!

8月5日(金) 15:00 開演

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

モーツァルトへのオマージュ

20世紀版《フィガロの結婚》として書かれた《ばらの騎士》。この歌劇の主役である元帥夫人はベテランが演じることが多く、どうしても年増のイメージがあるが、作曲家本人によれば本当は32歳程度の設定だという。今年まさに32歳を迎える川瀬が「同年代」としての共感をもってどう表現するのか期待が膨らむばかり。組み合わせられるのは、ふたりのソロが重唱(ソプラノとメゾ)に見立てられた協奏交響曲に、ソプラノによるR.シュトラウス歌曲集と、歌心にあふれた舞台を楽しめること間違いなし。(小室敬幸 作曲/音楽学)

躍進著しい川瀬賢太郎×神奈川フィル。去る6月の名フィルとのジョイント公演における、ショスタコーヴィチ「レニングラード」の成功も記憶に新しい。そんな彼らが今回贈る「モーツァルトへのオマージュ」プログラムは、どれも音楽の愉悅が体に沁みわたる名曲揃い。「フィガロの結婚」序曲で文字通り幕を開け、神奈川フィルが誇る名手2人による「協奏交響曲」。続いては、高橋維のイケテッシュな独唱とオーケストラの滋味が深い余韻を残すリヒャルト・シュトラウスの歌曲選をたっぷり。そして「ばらの騎士」組曲では、世紀末ウィーンの爛熟を味わいながらモーツァルトに想いを馳せたい。マエストロの知性に唸るばかりの名プログラムだ。

(平岡拓也 大学生/音楽プロガー)



川瀬賢太郎 ©青柳聡

「音楽大学オーケストラ・フェスティバル」11月に開幕 若き才能が大活躍！熱い演奏に今年も期待高まる！！

首都圏の9つの音楽大学が代わるがわるステージを彩る『音楽大学オーケストラ・フェスティバル』。「学生の演奏でしょ…？」と思うなかれ、最近の若者はスゴいんです！緊張を感じさせずサラッと高難度のパッセージを演奏するかと思えば、見ているのも恥ずかしくなるほどの若々しいトゥッティでかき鳴らす！そんな本番を迎えるには、毎日練習を繰り返し、分奏やオーケストラリハーサルを重ね、音楽と向きあう日々を過ごすからこそ。他大学と同じステージに上ることも大きな刺激になります。毎年名演が生まれるのも納得です。

さらに、若手を支え、リードするのはクラシック音楽界の最前線を走り続ける指揮者陣。教育者の顔とエンターティナーの両面を見せてくれます。ミュージザでの2日間ほどのプ

ログラムも名曲！難曲！熱い曲！と3拍子そろったラインナップです。各大学の学生が今回のために作曲したファンファーレも注目です。

しかも通し券は全4公演(東京芸術劇場の2公演含む)で3,000円とお買い得。名曲を思う存分楽しみたい方も、若者の雄姿を見届けたい方も、皆様お聴き逃しなく！

(事業課 わ)

<p>11月23日(水・祝)</p> <ul style="list-style-type: none"> 桐朋学園大学(指揮:ジョシュア・タン) モーツァルト:ディヴェルティメント K136 バルトーク:管弦楽のための協奏曲 昭和音楽大学(指揮:渡邊一正) チャイコフスキー:交響曲第5番 	<p>12月3日(土)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国立音楽大学(指揮:梅田俊明) R.シュトラウス:交響詩「英雄の生涯」 東京音楽大学(指揮:秋山和慶) マーラー:交響曲第5番 <p>各日15時開演 会場:ミュージザ川崎シンフォニーホール</p>
--	---



ジョシュア・タン



渡邊一正 ©Satoshi Mitsuta



梅田俊明 ©三浦興一



秋山和慶

新商品のご紹介

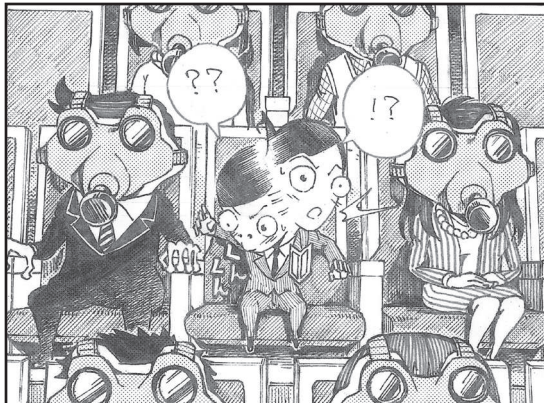


ご希望にお応えして、ミュージザオリジナルのトートバッグができました！ホール1階ショップにて好評発売中！（小600円・大900円）

暑い夏にはサイダーが飲みたい！

伊豆大島伝統海塩とシチリアレモンのごだわりサイダー。まるやかな塩とレモンの酸味が絶妙です。

サマーミュージザ期間限定、ホール2階ドリンクコーナーにて販売中。(400円)



コンサートへの道

The Road to becoming a Concertgoer

第10回 ニオイ対策は万全に

画: 井上孝志
文: ミュージザスタッフ

最近では男性用香水もたくさんあるし、大人のたしなみでぶしゅっと一吹き……。——せっかくのコンサート、おしゃれも楽しみたいですよね。その際気にしていただきたいのが、香水。自分にとっては良い香りでも、他の人には苦手な香りということもあります。さらにこの時期、汗のニオイも要注意。炎天下の中ご来場いただきますので、涼しいホールに辿りつくについつい靴を脱ぎたくもなりますが、そこはぜひご考慮を。みんなで気持ちよくコンサートを楽しめるよう、お互い気を付けたいですね。

パートナーショップのご紹介

エンジョイ! 川崎!!

Enjoy Kawasaki

牛たん 杉作

ミュージザ川崎1階・パートナーショップリストP.19

サマーミュージザ特典 チケット提示で **飲食代5%OFF**
※詳細はパートナーショップリストをご覧ください

ミュージザ1階エスカレーターすぐ傍にある「牛たん杉作」に行ってきました!牛たんカレーを目当てに行きましたが、カレーはお持ち帰りのみとのことで、受付スタッフ4人とも牛たん定食を注文。テールスープと麦ごはん、白菜のお漬物と青唐辛子のみそ漬けがついた牛タン焼き肉のセット。塩ベースのスープにはネギがたっぷり入っていて、さっぱり!牛タンとの相性も抜群。お肉はとても柔らかく

塩と胡椒のみのシンプルな味付けながら、食べごたえのある大満足なランチでした。コンサート帰りにビールと牛たん!も最高ですね!

(受付 ○田)



当日の感動をすぐお届け!!



バックナンバーはミュージザホームページでも公開中!
<http://www.kawasaki-sym-hall.jp/>

みなさまは音楽で感動したことはありませんか? この初めての感動体験は、数年前、オペラのゲネプロで、ドイツ人歌手のティアナ・ダムラウの歌を聴いたことです。彼女の歌声は、決して音量が大きいわけではなく、無理のない心地の良い声でした。オペラの意味もなんとなくしかわからないうちで、鳥肌が立ち、無条件で涙が出ました。そんな感動が忘れられず、多くの人にこの感動体験を味わっていただきたいという思いから、縁がありミュージザで働いております。スマートフォンなどで気軽に音楽を楽しめるようになった昨今だからこそ、生でしか味わえない奏者の息遣いを、臨場感を肌で感じていただく場として、音楽の魅力を発信していきたいと思っております。

スタッフ日誌

友の会キャンペーン実施中

新規入会でもらえる!

サマーミュージザ期間中に友の会入会受付カウンターで入会された方にサマーミュージザオリジナルチケットホルダーをプレゼント!(~8月11日まで)年会費3,000円でお得な6つの特典♪
詳しくは友の会入会窓口(ホール歓喜の広場特設カウンターもしくは5階受付)まで

現在会員の方に “最響の水” が当たる!

サマーミュージザ公演のチケットを事前にご購入の友の会会員様、各公演抽選で20名様に“最響の水”をプレゼント!(当選者の座席番号を当日ロビーに掲示いたします。)

